

表計算アプリでグラフの活用



Google Spreadsheet

【ねらい】

Spreadsheetの基本的な機能の理解と教材作成において効果的にSpreadsheetを使うことができる。

【ポイント】

- ① 関数の利用・活用
- ② 条件付き書式
- ③ 視覚化（グラフ機能）

【活動】 文字の入力と棒グラフ挿入、表の完成。

岡山県総合教育センター



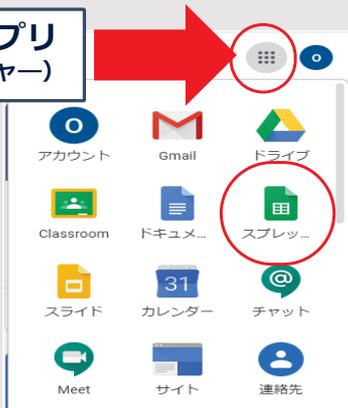
関数の利用・活用

条件付き書式

視覚化(グラフ機能)

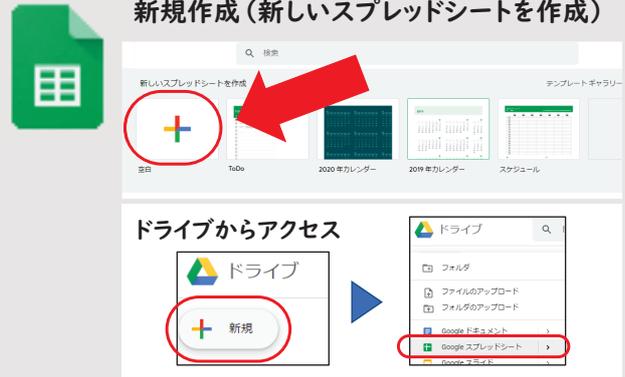
アプリの場所

Google アプリ (アプリランチャー)

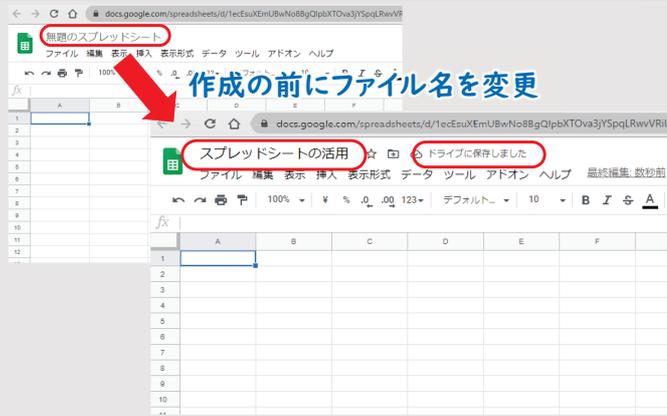


【スプレッドシート】新規作成

新規作成 (新しいスプレッドシートを作成)



【スプレッドシート】ファイル名の変更



【スプレッドシート】メニューの確認



様々な、メニューバーの項目があります。

【スプレッドシート】メニューの確認

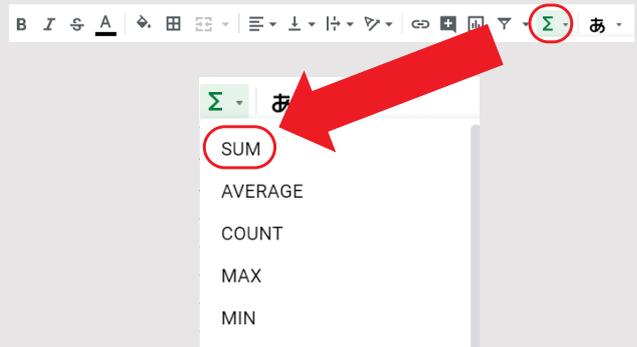


アップデートに伴って変更になる場合あり

メニューの下にツールバーあり
作業を効率的に行うアイコンが多数備わっている

【スプレッドシート】関数の挿入

ツールバー → Σのマークをクリック SUM選択



範囲選択 → 右クリック → 条件付き書式

用途	金額	支払
家賃	6,000	
駐車場代	1,100	
洋服代	2,000	
食費	4,000	
交通費	2,000	

名前付き範囲を定義
範囲を保護

コメント Ctrl+Alt+M
メモを挿入

条件付き書式
データの入力規則

条件付き書式設定ルール

単一色 カラースケール

範囲に適用

C3:C7

書式ルール

セルの書式設定の条件...

以上

4000

書式設定のスタイル

カスタム

キャンセル 完了

+ 条件を追加

範囲選択 → データ探索 → グラフ選択 挿入

用途	金額
家賃	6,000
駐車場代	1,100
洋服代	2,000
食費	4,000
交通費	2,000

データ探索

対象: A2:F7

SUM 15,100
AVERAGE 3,020
MIN 1,100
MAX 6,000
COUNTA 10

書式

交互の視覚性を適用した場合 A2:F7



データ探索



最適な
グラフを
自動で提案

範囲選択 → 挿入 → グラフ → エディタで設定

用途	金額
家賃	6,000
駐車場代	1,100
洋服代	2,000
食費	4,000
交通費	2,000

挿入 表示形式 データ ツール アドオン

上に5行
下に5行

左に2列
右に2列

セルを挿入して既存のセルを下に移動
セルを挿入して既存のセルを右に移動

グラフ

画像

図形描画

グラフエディタ

設定 カスタマイズ

グラフの種類

棒グラフ

積み上げ

棒グラフ

データ範囲

B3:C7

X軸

Y B3:B7

系列

B3 C3:C7

系列を追加

行と列を切り替える
行と列を逆出しして使用
列をラベルとして使用

最適な
グラフを
手動で設定

棒グラフの作成